

平成 2 2 年 度

**教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(平成 2 1 年度対象)**

平成 2 2 年 1 1 月

帯 広 市 教 育 委 員 会

目 次

1	点検及び評価の基本的な考え方	1
	(1) 趣旨	1
	(2) 対象	1
	(3) 方法	1
	(4) 学識経験者の知見の活用	1
2	点検及び評価の結果	3
	(1) 次代を担う人づくり	3
	(2) とともに学びきずなを育む地域づくり	11
	(3) 基本目標を実現するための基盤づくり	15
3	教育に関する学識経験者の意見	25
	参考資料	27
	平成21年度教育委員会の活動状況	28
	平成21年度教育行政執行方針	32
	平成21年度予算決算	36
	平成21年度における主な取組み一覧	38
	成果指標の推移	43

1 点検及び評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、教育の取組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

(2) 対象

平成21年度に策定した「帯広市教育基本計画」の体系にしたがい、平成21年度に実施した取組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

なお、「帯広市教育基本計画」においては、福祉や子育てなど他の分野と幅広く協力しながら取組みをすすめることとしていることから、教育委員会の取組みに加え、関係部課等の取組みについても、点検及び評価の対象としています。

(3) 方法

点検及び評価は、第六期帯広市総合計画の政策・施策評価と整合をはかりつつ、「帯広市教育基本計画」の「個別目標」及び「基本方向」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や平成21年度における主な取組み内容などを踏まえながら、平成21年度における取組みの成果と、課題及び今後の方向性の2つの観点から、点検及び評価を行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

学識経験者からの点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けた活用をはかります。

参考1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)	
第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。	
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。	

図1 帯広市教育基本計画体系図

基本目標	個別目標	展開方策
1 次代を担う人づくり	1-1 知識・技能の習得	(1) 子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進 (2) 個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進 (3) 職業に関する教育・学習活動の推進 (4) 高度情報化に対応した教育・学習活動の推進
	1-2 豊かな心の育成	(1) 子どもの社会性の育成 (2) 豊かな情操の育成と生きがいづくり
	1-3 健やかな体づくり	(1) 健やかな体を育むスポーツ活動等の推進 (2) 食育の推進と学校給食の充実
	1-4 人間を尊重し自然と共生する人づくり	(1) 人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進 (2) グローバル化に対応した教育・学習活動の推進 (3) 環境に関する教育・学習活動の推進
2 とともに学びきずなを育む地域づくり	2-1 ふるさとの理解の促進	(1) 子どものふるさと教育の推進 (2) 地域に関する学習活動の推進
	2-2 きずなづくり・まちづくり	(1) まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進 (2) にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興

	基本方向	展開方策
基本目標を実現するための基盤づくり	1 学校・家庭・地域の連携	(1) 開かれた学校づくり (2) 家庭教育への支援 (3) 家庭や地域による教育支援の推進
	2 教育を支える人材の育成	(1) 教員の人間力・指導力の向上 (2) 地域の人材の発掘・育成・活用
	3 教育環境の充実	(1) 学校教育の環境整備 (2) 社会教育の環境整備 (3) 保育・体験活動の環境整備
	4 教育機会の確保	(1) 就学・進学への支援 (2) 健やかな発達の支援
	5 よりよい教育のためのしくみづくり	(1) 魅力ある学校づくりの推進 (2) 学校教育のしくみの工夫改善 (3) 社会教育施設の利用の促進 (4) 地域の実情に応じた教育行政の推進

2 点検及び評価の結果

(1) 次代を担う人づくり

個別目標1 - 1	知識・技能の習得
市民が生涯にわたり自己を高めるとともに、時代の変化に適応し、自立して生きることができるよう、必要な知識・技能を習得することができる教育・学習活動をすすめます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進」については、各学校の学校改善プランや活力ある学校づくり支援事業、保護者と連携した家庭学習の啓発などをすすめ、標準学力検査の目標値を達成しました。また、百年記念館の出前講座や図書館での調べ学習など、社会教育施設と学校が連携して学習意欲の向上をはかりました。</p> <p>(2)「個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進」については、各小中学校区で開催されている講座の充実などにより、講座等への参加者数が目標値を上回りました。</p> <p>(3)「職業に関する教育・学習活動の推進」については、帯広南商業高校において、地域事業者による実践的授業や情報処理教育をはじめとするキャリア教育などにより、就職率100%を維持するとともに、北海道内の専門高校でトップクラスとなる、検定3種目以上1級取得率を達成しました。</p> <p>(4)「高度情報化に対応した教育・学習活動の推進」については、教育用コンピュータの児童生徒1人1台化や、校内LAN及び大型デジタルテレビの全校整備など、高度情報化に対応した教育環境の充実をすすめたほか、児童生徒が情報を適切に判断できる能力の育成や、情報モラルの向上をはかりました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進」については、基礎基本のさらなる定着が課題となっています。今後、少人数指導など個に応じたきめ細かな指導を充実するとともに、指導方法の具体的な改善例や生活習慣の改善などについて情報提供しながら、学校・家庭が連携した取組みを引き続きすすめる必要があります。</p> <p>(2)「個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進」については、学習情報を幅広く提供するとともに、さまざまな講座を引き続き開催していく必要があります。</p> <p>(3)「職業に関する教育・学習活動の推進」については、帯広南商業高校において、実社会で即戦力となる豊かな教養人を育成し、地域社会に信頼され愛される学校を目指して、今後とも、高度な資格取得やキャリア教育の充実に取り組んでいく必要があります。</p> <p>(4)「高度情報化に対応した教育・学習活動の推進」については、教育用コンピュータの計画的な更新や、授業改善に役立つ視聴覚教材などの充実をはかるとともに、情報モラルの育成に引き続き取り組んでいく必要があります。</p>

参考 1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
標準学力検査の目標基準到達観点数（観点）	26	26 26	42
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数（人）	22,590	24,954 23,000	23,000
帯広南商業高等学校の就職率（％）	100.0	100.0 100.0	100.0
帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率（％）	46.7	50.0 47.9	75.0

参考 2：主な取組みの内容

活力ある学校づくり支援事業

学校が独自に目標を設定・管理し、積極的に企画提案する取組を支援することで、学校の活力を高め、学校の主体性・自律性を向上させ、信頼される学校づくりをすすめる事業として、平成 21 年度にスタートしました。「基礎配分」では、児童生徒数に基づき全小中学校に予算配分し、総合的な学習の時間の充実に努めています。また、「査定配分」では希望する学校の企画・提案について、市教委が面接により査定し、予算を配分しています。平成 21 年度においては「豊かな学び支援」として、運動に親しむ態度を育むための運動プログラムづくりなど 19 校を、「環境教育支援」として、校区内の川や自然環境を生かした体験活動など 13 校を採択し、各学校の特色を生かした教育活動が展開されました。



札内川での川下り体験
（「環境教育支援」の例）

出前講座「ミニ百年記念館」の取組み

帯広百年記念館では、博物館と学校とが積極的に連携できる学習プログラム作りをすすめています。「ミニ百年記念館」は、百年記念館が収蔵しているはく製などの資料を職員が持参し、学校で授業を行う出前講座です。平成 21 年度は小学校 2 校で、エゾリスのくらしや生活に必要な環境についての授業を行いました。子どもたちは、小枝をぎっしりと組み合わせたエゾリスの巣に歓声をあげながら、身近な地域の環境問題について理解を深めることができました。



出前講座「ミニ百年記念館」のようす

個別目標1 - 2	豊かな心の育成
<p>子どもたちが、他の人々と協調しながら、自らを律し、社会においてよりよく生きる力を身につけるとともに、市民が生涯にわたりゆとりやうるおいを実感して生活することができるよう、豊かな心の育成に取り組みます。</p>	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「子どもの社会性の育成」については、小・中学校への生徒指導アドバイザー派遣など、きめ細かな教育相談を行う体制を維持したほか、帯広南商業高校において全校生徒によるボランティア活動などをすすめました。また、新型インフルエンザの影響により参加児童数が目標値を下回ったものの、新たに2校において「子どもの居場所づくり」を実施するなど、子どもの体験活動等の機会が着実に充実してきています。</p> <p>(2)「豊かな情操の育成と生きがいづくり」については、学校における朝読書の取組みなど教員による読書指導や学校図書館の蔵書の充実、学校図書館と市図書館との連携、学校図書館ボランティアの取組みなどが相まって、子どもの読書機会の充実がはかられ、小・中学校図書館の貸出冊数が目標値を上回りました。また、プラ八国立歌劇場「アイーダ」帯広公演など芸術・文化の鑑賞機会を提供したほか、平成21年3月の市民ギャラリーオープンに伴う芸術・文化活動の発表の場の充実や、団体への支援、市民芸術祭・市民文芸の浸透などにより、市民の文化活動が活発化してきています。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「子どもの社会性の育成」については、小・中学校や帯広南商業高校において、社会性などについて生徒の意識高揚に引き続き取り組む必要があります。また、不登校の状況を見ると、全生徒に占める割合が1.91%と、全国平均2.89%より低くなっているものの、不登校の低年齢化や要因の複雑化などから、学校への復帰が依然として課題となっています。今後、保護者と緊密に連携しながら、支援体制の充実や関係機関との連携、個に応じた相談活動の充実をはかる必要があります。</p> <p>(2)「豊かな情操の育成と生きがいづくり」については、市民主体の芸術・文化活動を引き続き支援するとともに、鑑賞事業については、事業件数の減少により入場者数が目標値を下回っていることから、アンケートを活用した市民ニーズの把握や、質の高い事業の実施に努めながら、入場者数を増加していく必要があります。また、学校図書館及び市図書館の蔵書を計画的に充実し、読書に対する市民ニーズに応えるほか、子どもの読書機会の充実をはかるため、学校図書館と市図書館が連携した「図書館連携プログラム」や、家庭と連携した子どもの読書習慣づくりなどをさらにすすめる必要があります。</p>

参考 1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
不登校生徒の復帰率（％）	30.8	20.4 40.0	65.0
子どもの居場所づくり参加児童数（人）	7,575	12,116 13,400	31,100
小学校図書館の児童 1 人当たり貸出冊数（冊）	9.1	9.5 9.2	11.8
中学校図書館の生徒 1 人当たり貸出冊数（冊）	1.6	2.4 1.7	2.4
鑑賞事業の入場者数（人）	34,098	31,415 38,000	38,000

貸出冊数は年間の冊数

参考 2：主な取組みの内容

学校図書館活性化支援事業

子どもたちの読書活動を推進するため、教職員や PTA、地域ボランティアなどで構成される運営委員会が、本棚の整理などの環境整備や調べ学習の支援、読み聞かせなどの行事の実施、学校図書館だよりの発行などを行っています。平成 21 年度は、新たに中学校 1 校で事業をスタートし、実施校は小学校全校と中学校 11 校にまで広がっています。読み聞かせは各小学校とも人気があり、平成 21 年度は合計 593 回、延べ 22,705 人の児童が参加しました。



ボランティアによる読み聞かせ
(開西小)

市民主体の文化活動

帯広市教育委員会では、文化団体やサークルなどが行う市民主体の芸術・文化活動を支援しています。平成 21 年度は、4 月 29 日から 5 月 31 日までの期間、「第 28 回おびひろ市民芸術祭」を開催しましたが、3 月にオープンした市民ギャラリーを新たに会場としたこともあり、展示会には例年を上回る 1,102 点、77 団体から作品の出品がありました。このほか、市民文化ホールで実施した公演には 1,558 人が出演しました。市民芸術祭全体として、期間中 2 万 3000 人余りの市民が訪れ、市民の日頃の文化活動の成果を鑑賞しました。



「市民芸術祭」での発表

個別目標1 - 3	健やかな体づくり
市民が生涯にわたり心身ともに健やかな生活を送ることができるよう、健やかな体づくりに取り組みます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「健やかな体を育むスポーツ活動等の推進」については、ゴルフやティーボールなどのニュースポーツをはじめとするスポーツ教室の開催や、「帯広の森スポーツフェスティバル」を実施したほか、地域住民が運営する「総合型地域スポーツクラブ」の設置数が目標値を達成するなど、地域スポーツの振興をはかりました。パークゴルフについては、身近なスポーツ活動として定着してきており、施設管理の面でも、地域の同好会との協働がすすんでいます。また、平成21年度には、北海道教育委員会の委託を受け、ラグビー、ティーボールなどのニュースポーツを通じ、体力づくりの普及促進をはかりました。</p> <p>(2)「食育の推進と学校給食の充実」については、主食として十勝産小麦100%のパンや、道内産の「イエスクリーン米」を使用し、地産地消をすすめているほか、食に関する正しい知識と食習慣が身につくよう、バイキング給食やふるさと給食、学校給食週間などの特別給食の提供や、栄養士による給食時や教科における指導を行っています。また、安全・安心な学校給食を提供するため、平成21年度から給食費を改定しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「健やかな体を育むスポーツ活動等の推進」については、天候不順や明治北海道十勝オーバルの学校利用の取組みの遅れなどから、スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数が目標値を下回ったほか、幅広い年齢層で運動不足の傾向や、運動する人とならない人の二極化がすすんでいます。今後、スピードスケートのメダリストを講師とした教室等を開催するなど、帯広の森運動施設の利用機会を新たに提供するほか、「総合型地域スポーツクラブ」の活動支援や新設準備、各校区に配置している体育指導委員の活動の活発化に取り組み、学校など身近な地域における教室等の充実をはかる必要があります。</p> <p>(2)「食育の推進と学校給食の充実」については、天候不順の影響で、給食の地場産野菜の導入率が目標値を下回りました。今後とも、地場産野菜の導入に努めながら、引き続き安全安心な給食を提供する必要があります。また、保護者や学校が連携した食育の取組みや、学校栄養職員による食に関する指導の充実をはかる必要があります。</p>

参考 1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数(人)	35,677	44,613 87,000	87,000
総合型地域スポーツクラブの設置数(か所)	2	3 3	8
学校給食における地場産野菜の導入率(%)	55.7	57.0 63.0	70.0

参考 2：主な取組みの内容

学校給食の充実

学校給食共同調理場では、食育事業として、栄養職員が訪問し、小学1・3・5年生を対象とした給食指導や、5・6年生を対象とした教科指導を行っています。また、6年生にはバイキング給食を通して、食品をバランスよく選ぶ力を育む指導を行っています。食材には、十勝産小麦100%のパンや道内産の「イエスクリーン米」をはじめ、地元産を優先的に使用しており、平成21年度には、牛肉の消費拡大事業と連動した献立を提供しました。こうした取組みについては、「ふるさと給食週間」を通じて児童生徒の理解を促進しているほか、平成21年度は初めて、「帯広市食育フェスティバル」でもPRしました。



ふるさと給食の例
(大津産鮭のしゅうまい、十勝産牛肉を用いた牛肉汁)

地域スポーツの振興

身近な地域におけるスポーツを振興するため、地域住民が運営する「総合型地域スポーツクラブ」の活動支援や新設準備を行っており、平成21年度は、帯広競馬場南側広場を拠点に活動するNPO法人馬事公苑帯広セントラルスポーツクラブが活動を始め、クラブ数は3団体となりました。また、市内12か所のパークゴルフ場では、同好会と協定を結び、市民協働で管理運営をしてきました。平成21年度においては、農村部のパークゴルフ場としては初めてとなる市民協働方式の導入に向けて、以平農業公園を管理する以平連合町内会と協議を重ねました。



市民協働により管理運営している
パークゴルフ場

個別目標1 - 4	人間を尊重し自然と共生する人づくり
誰もが人間として尊重され、共生することができる社会づくりや、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに資するため、市民が必要な知識などを習得することができる教育・学習活動をすすめます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進」については、福祉体験活動や性教育など、学校の教育活動全体を通じて取り組みました。また、講座の開催や情報誌の発行などを通じて、ユニバーサルデザイン(UD)、福祉、男女共同参画の啓発に取り組んでおり、UDに関する講座等への参加者数は目標値を上回りました。</p> <p>(2)「グローバル化に対応した教育・学習活動の推進」については、国際理解教育指導助手や外国語指導助手等を各学校に派遣し、児童生徒のコミュニケーション能力の向上や異文化理解の深化をはかりました。また、帯広南商業高校においては、専任の英語指導助手による指導や、インターネットを活用した英語学習システムなどを通じて、実践的な英語力の習得に取り組んでいます。なお、姉妹都市であるマディソン市への派遣研修については、新型インフルエンザの影響により中止しました。</p> <p>(3)「環境に関する教育・学習活動の推進」については、「活力ある学校づくり支援事業」の一環として、各学校の創意工夫を生かした環境教育の取組みをすすめたほか、省エネ・省資源や環境美化など、環境にやさしい活動に取り組む学校数が目標値を達成しました。また、環境教育の教材開発を行い、学校への普及をはかったほか、児童会館では、地球温暖化を考える科学展示「地球のようす館」をオープンし、環境に関する展示等を充実しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進」については、子どもから高齢者まで、幅広い市民の意識啓発に向けて、講演会や講座の開催、情報誌の発行などの取組みを息長くすすめていく必要があります。</p> <p>(2)「グローバル化に対応した教育・学習活動の推進」については、学習指導要領の改訂に伴い、小学校における外国語活動が本格的にスタートすることから、これまでの取組みを踏まえた円滑な実施に努める必要があります。また、国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数が目標値を下回っており、さらなる周知などをはかる必要があります。</p> <p>(3)「環境に関する教育・学習活動の推進」については、環境モデル都市にふさわしい環境教育を推進するため、各学校における教育課程への位置づけなどを通じて、より一層体系的な環境教育をすすめるほか、社会教育施設の資料等を活用し、環境に関する市民の学習機会を充実していく必要があります。</p>

参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
UDに関する講座等への参加者数（人）	234 (H17-19 平均)	333 234	370
国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数（人）	8,465 (H17-19 平均)	7,862 8,500	9,350
環境にやさしい活動実践校数（校）	10	14 14	41

参考2：主な取組みの内容

学校における環境教育の取組み

教育研究所は、学校における環境教育に役立つ情報を発信しています。アンケートを通じて各学校の実態を把握した上で、環境教育に有効な教材教具を購入し、授業での活用例などをまとめました。また、市内の施設や出前講座、ホームページなどの情報をまとめた「環境教育推進ガイド」を作成し、市内小中学校へ配付しました。所内には書籍・DVD教材等をそろえた「環境コーナー」を設け随時貸し出しており、気体検知器やエコワット、土壌動物抽出装置などの教材が小・中学校で積極的に活用されています。



環境教育推進教材の例

帯広南商業高校における外国語教育

帯広南商業高校では、専任の英語指導助手を配置し、科目「オーラルコミュニケーション」の授業において生きた英会話を生徒に指導しています。また、(財)エイ・エフ・エス日本協会から2名の外国籍生徒を体験的留学生として通年受け入れており、授業やクラブ活動を通じて、南商生と留学生が互いに多様な文化を体験しています。このほか、外国の生徒が本市を訪問した際に、南商生が茶道・華道を指導して交流を深めるなど、国際理解教育の活動に取り組みました。



英語指導助手による授業

(2) ともに学びきずなを育む地域づくり

個別目標2 - 1	ふるさとの理解の促進
<p>市民がふるさとの風土に学び、自己を確立するとともに、ふるさとの誇りや愛着などを高めることができるよう、ふるさとの理解や再発見を促進する教育・学習活動をすすめます。</p>	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「子どものふるさと教育の推進」については、「郷土体験学習」、「自然体験学習」、「ふるさと学習」を引き続き実施し、ふるさとの理解を深めたほか、アイヌ民族の歴史や文化などについての理解を促すため、授業用に「アイヌ民族の理解促進指導用教材資料」を作成し、学校での活用をはかりました。</p> <p>(2)「地域に関する学習活動の推進」については、「市民大学講座」、「博物館講座」などを通じて、市民に学習機会を引き続き提供したほか、百年記念館と図書館の合同企画として、帯広のまちの歴史を写真や新聞記事などから振り返る「昭和の記憶 あこのころの時代へ」を、市民との協働により開催しました。また、百年記念館特別企画展として、北海道立帯広美術館で行われたアイヌ工芸品展と連携した「描かれたアイヌの世界 - アイヌの美・カムイと創造する世界への序章」を開催し、ロシア・オムスク造形美術館が所蔵するアイヌ風俗画の展示や、講演会、ロビーコンサート、展示解説ツアー、夜学講座などの関連行事を実施し、アイヌ民族・文化に関する市民理解の促進をはかりました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「子どものふるさと教育の推進」については、さらに効果的な教育活動を推進するため、郷土体験学習等の事業目的の周知や外部講師の確保をはかるとともに、ふるさと学習の活動場所・内容の充実をはかる必要があります。また、子どもたちがふるさとについてより一層体験的に理解できるよう、学校と社会教育施設が連携した学習活動のあり方について、検討をすすめる必要があります。</p> <p>(2)「地域に関する学習活動の推進」については、基準年に比べ講座の開催数が減ったことにより、講座等への参加者数が目標値を下回りました。今後、より魅力ある講座内容等の検討や、よりきめ細かな情報発信をすすめる必要があります。また、市内の歴史的遺産について、情報提供などにより市民の学習活動における活用を促進する必要があります。</p>

参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
地域について学ぶ講座等への参加者数(人)	4,053	3,311	4,000
		4,000	

参考2：主な取組みの内容

郷土体験学習・自然体験学習

ふるさとの環境・自然・農業等に直接ふれ、体験的に学ぶ教育プログラムにより、郷土と自然を愛する、心豊かな児童生徒の育成をはかっています。平成21年度には、郷土体験学習として、小学校4年生が、くりりんセンター、下水処理場、エールセンター、百年記念館、牧場など10か所の見学場所から3か所を選択して見学や体験を行い、ふるさとの理解を深めました。また、自然体験学習として、中学校2年生が、川下り体験、ソーセージ等加工体験、自然観察など、帯広市の豊かな自然等を体験できる9コースから選択し、ふるさとの素晴らしさを全身で味わっていました。



小学生の酪農体験
(郷土体験学習)

百年記念館における講座・企画展

百年記念館では、市民の生涯学習ニーズに応えるとともに、ふるさとの理解と関心を深めるための多様なプログラムを企画・開催しています。平成21年度は、特別企画展「描かれたアイヌの世界」をはじめ、「アイヌ語で自然かんさつ」「考古学の歴史」などの博物館講座や、「カエルはみんなの先生だ！」(自然観察会)、「じょうもん人と腕くらべ」(土器づくり)などの連続講座を開催しました。また、より多くの市民に受講いただけるよう「夜学講座」にも取り組んでおり、平成21年度は「アイヌ風俗画からアイヌ文化を学ぶ」を開催しました。



連続講座「カエルはみんなの先生だ！」
のようす

個別目標2 - 2	きずなづくり・まちづくり
地域におけるきずなづくりや、市民主体のまちづくりに資するため、まちづくりへの市民参画やまちのにぎわい・交流を促進する学習・文化・スポーツ活動をすすめます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進」については、帯広南商業高校における全校生徒ボランティア活動を通じて、青少年の主体的な社会参加を促進しました。また、ボランティア活動機会に関する情報提供や、生涯学習コーディネーターの組織化など、学習活動の成果を生かせる環境づくりに力を入れた結果、学習成果の活用事例数が目標値を上回りました。なお、青少年リーダー養成事業参加者数の減少は、新型インフルエンザの流行が影響したものです。</p> <p>(2)「にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興」については、平成21年3月の市民ギャラリーオープンに伴い、芸術・文化の発表・活動の場への参加団体数が目標値を上回りました。また、明治北海道十勝オーバルのオープンに伴い、スピードスケートの国際大会が2週にわたり開催されたほか、ナショナルトレーニングセンター指定に伴う合宿利用の増加や、中地多目的広場が予想を上回る利用があったことなどから、各種スポーツ大会の観客数とスポーツ合宿団体数が基準年を上回り、目標を概ね達成しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進」については、学習成果の活用に対する市民ニーズが高いことから、ボランティア活動機会に関する情報提供などに引き続き取り組むほか、地域の学習団体等が行う講座や学習会などへの支援や、まちづくりに関する体験的な学習活動などをすすめる必要があります。</p> <p>(2)「にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興」については、中心市街地における取組みとの相乗効果に意を用いながら、市民文化ホールや市民ギャラリーなどを拠点として、芸術・文化を通じた交流の機会を提供していく必要があります。また、市民がスポーツを身近に感じられるよう、関係団体等と連携しながら大会・合宿の誘致に引き続き取り組むとともに、スポーツ観戦機会の提供や、一流選手とのふれあいの場を設けていく必要があります。</p>

参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
青少年リーダー養成事業参加者数（人）	208	187 210	260
学習成果の活用事例数（件）	1 (H20)	3 1	10
発表・活動の場への参加団体数（団体）	56	77 56	65
各種スポーツ大会の観客数（万人）	16.0	17.3 18.2	20.8
スポーツ合宿団体数（団体）	150 (H20)	190 200	200

参考2：主な取組みの内容

生涯学習コーディネーターの活動

生涯学習コーディネーター養成課程の修了者が、市民の学習活動を支援することを目的に、平成21年4月に活動団体「生街楽集の学舎」(しょうがいがくしゅうのまなびや)を設立しました。具体的には、市民団体への学習プログラムの提案や学習運営の支援のほか、教育委員会と連携した学習活動を推進しています。特に、まちづくりの推進において重要性が増している話し合い学習や体験学習の進行役・サポート役として活動をしています。



帯広の森で体験学習を開催する
生涯学習コーディネーター

スピードスケート国際大会の開催

明治北海道十勝オーバルでの初の国際大会として、ISU世界オールラウンドスピードスケート選手権大会アジア地区予選会兼アジアスピードスケート距離別選手権大会を平成22年1月9日～10日に、ISU世界スプリントスピードスケート選手権大会を1月16日～17日に開催しました。バンクーバーオリンピック直前のメダルの行方を占う重要な大会として、世界の一流スケーターによるハイレベルなレースが開催され、約9,300人が観戦しました。競技関係者からは、施設や大会運営について高い評価を受けたほか、合宿誘致にもつながり、スケート王国帯広・十勝を広くアピールすることができました。



ISU世界スプリントスピードスケート
選手権大会のようす

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

基本方向1	学校・家庭・地域の連携
学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に協力しながら、社会を挙げて教育を充実することができるよう、学校・家庭・地域の連携をすすめます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「開かれた学校づくり」については、学校評議員を全校で委嘱しているほか、公開研究会などを通じて、保護者や地域住民などに授業を公開する取組みが広まっています。</p> <p>(2)「家庭教育への支援」については、家庭への情報提供を通じて、望ましい学習習慣や生活習慣についての啓発をすすめたほか、乳幼児健診時の「絵本との出会い事業」や、図書館において親子で読書に親しむ「胎児期からのブックスタート」事業を行うなど、読書を通じて親子がふれあう機会の充実をはかりました。</p> <p>(3)「家庭や地域による教育支援の推進」については、家庭や地域が学校を支える取組みの重要性に関する市民理解が高まってきたことを背景として、学校支援ボランティアを活用した学校数が目標値を達成しました。また、「子どもの居場所づくり」や「学校図書館活性化支援事業」といった、地域ボランティアによる校区単位の活動が拡大してきたほか、子どもと高齢者の異世代交流や、企業などの協力による家庭教育支援、職業体験の受け入れなどが、校区をこえて広がってきています。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「開かれた学校づくり」については、児童生徒や地域の実態を踏まえた学校運営の改善をはかるため、新任学校評議員を対象とした研修会の開催や学校評価における第三者評価者としての役割の充実など、学校評議員制度のさらなる活用に取り組む必要があります。</p> <p>(2)「家庭教育への支援」については、子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数、及び子育てメール通信の利用率が目標値を下回りました。これは、新型インフルエンザの影響や、子育てメール通信の対象者を拡大したことが要因と考えられます。子育てに対して不安感を抱く保護者が依然として多いことから、情報提供を拡充するほか、気軽に相談ができる体制の充実をはかる必要があります。</p> <p>(3)「家庭や地域による教育支援の推進」については、ボランティア・コーディネーターが固定化してきており、人材の確保・育成などにこれまで以上に取り組む必要があります。また、長い歴史を持つ団体等に加え、地域における教育活動を支える新たな組織が設置され、教育支援活動が多様化してきた一方で、目的意識の共有や相互協力などが重要となっていており、組織や活動をこえたネットワークの形成について検討する必要があります。</p>

参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数(回)	10.2	9.6	12.0
		10.6	
子育てメール通信の利用率(%)	23.8 (H20)	22.6	60.0
		25.0	
学校支援ボランティアを活用した学校数(校)	2	15	40
		15	

参考2：主な取組みの内容

学校評価の取組み

学校運営の組織的・継続的な改善をはかるため、平成20年度から市内全41校において、各学校が教育活動などについて目標を設定し、その達成状況や取組みについて評価を実施しています。平成21年度においては、前年度に引き続き、全校から、設置者である帯広市教育委員会に報告書が提出されました。また、新任の学校評議員を対象として、学校評価などに関する研修会を開催するとともに、年3回通信を発行し、学校評議員に学校評価等に関する情報を提供しました。



新任学校評議員研修会

親子ふれあいの機会の提供

社会教育施設では、親子がふれあうさまざまな機会を提供しています。平成21年度は、図書館において、「胎児期からのブックスタート事業」を実施し、子どもが絵本に親しむコマを撮影した「絵本との出会い写真展」や、地域子育て支援センターでの出前講座・おはなし会を開催したほか、ボランティアによる乳児健診会場での読み聞かせや、親子と一緒に参加する手遊び講習会、親子折り紙教室などを行いました。このほか、動物園では「おやこ動物園教室」、百年記念館では「親子陶芸講座」や「親子七宝講座」、児童会館では「親子エンジョイ将棋」や「もっくん教室」などを開催しました。



子育て支援センターでの講座と
おはなし会風景

基本方向2	教育を支える人材の育成
専門性や豊かな人間性などを備えた、教育を支える人材を確保するため、教員や地域の指導者などの育成に取り組みます。	

点検及び評価の結果

項 目	内 容
取組みの成果	<p>(1)「教員の人間力・指導力の向上」については、帯広市教育委員会及び関係機関主催の教員研修の受講を促進しています。特に、コンピュータ講座については多くの教員が受講しており、コンピュータを活用して授業ができる教員の割合も上昇傾向にあります。また、学校においてミドルリーダーとなり得る、豊かな人間性をもった教師を養成するため、教育関係者以外の外部講師を招き、教員リーダー養成「21世紀教師塾」を開催しており、平成21年度は延べ123名の教員が受講しました。このほか、「個人研究サポート」として、教員の研修機会・研修活動への支援を行うとともに、報告会を通じて研修成果の還元をはかりました。</p> <p>(2)「地域の人材の発掘・育成・活用」については、「新人演奏会」や「ふるさと公演」を開催し、今後活躍が期待される芸術家を対象に発表の機会を提供したほか、ニュースポーツの講習会を開催し、地域のスポーツ指導者の育成をすすめました。また、小・中学生を対象としたスケート教室「スケートキングダム」を引き続き開催し、スピードスケートのすそ野の拡大と競技力の向上をはかりました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「教員の人間力・指導力の向上」については、教職員の研修受講回数が長期で見ると増加傾向にありますが、平成21年度は目標値を下回りました。研修に対する教員のニーズが多様化しているほか、インフルエンザの流行も影響したことが要因と考えられます。今後とも、教員一人一人が教育公務員としての使命感と責任感をより一層自覚しながら児童生徒に指導できるよう、研修内容や回数の充実に努めながら、ミドルリーダーの育成に引き続き取り組むとともに、学校と連携して、計画的な受講を促進する必要があります。</p> <p>(2)「地域の人材の発掘・育成・活用」については、指導者登録制度に関する市民周知が十分ではなかったことから、地域の指導者の登録数が基準値より減少し、目標値を大きく下回りました。今後、ホームページなどを通じて、広く周知を行うとともに、分かりやすい情報発信に努める必要があります。また、ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数は、公表を望まない団体もあることなどから、ほぼ横ばい状態が続いています。文化団体にとってより魅力あるホームページとなるよう、公表する情報内容の充実をはかる必要があります。また、スポーツ人材の育成のため、体育団体やスポーツ少年団の活動を支援するほか、スピードスケートについて、子どもたちが幼児期から学校卒業まで一貫した専門的指導を受けられるしくみづくりをすすめる必要があります。</p>

参考 1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
教職員 1 人当たりの研修受講回数（回）	2.2	2.1	3.0
		2.3	
地域の指導者の登録者数（人）	138	110	190
		140	
ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数（団体）	260	259	272
		262	

参考 2：主な取組みの内容

教員リーダー養成「21世紀教師塾」

教育研究所では、指導力の向上と豊かな人間性を兼ね備えた教員の育成のための研修の場として「21 世紀教師塾」を開催しています。日常の教育実践とはなれた社会の風に直にふれることにより、参加者はさまざまな価値観や思考方法などを感じ、知的好奇心や心情が揺すぶられ、大きな刺激となっています。平成 21 年度はコピーライターや鳥獣保護員の方を講師に招き、のべ 123 名が研修を受講しました。毎回、違った視点から教育を見つめ直すことができる貴重な機会となっています。



平成 21 年度第 1 回教師塾
「絵本はもっと面白い」

芸術・文化活動を支える人材の育成

帯広市文化賞文化奨励賞は、芸術・文化の向上発展に特に功労が顕著な方などに贈られ、平成 21 年度までに、93 名の個人と 29 団体が受賞しています。平成 21 年度は、合唱の岩井照清氏と絵画の宮澤克忠氏に文化賞を、ピアノの波塚三恵子氏に文化奨励賞を贈呈しました。また、市内の文化少年団や高校生が出場する全国大会等への派遣補助を継続して行っており、平成 21 年度は、「全国高等学校総合文化祭」に参加した高校や、「北海道吹奏楽コンクール」「NHK 全国学校音楽コンクール北海道ブロックコンクール」に参加した小学校に補助を行いました。



平成 21 年度文化賞文化奨励賞
贈呈式

基本方向3	教育環境の充実
市民が生き生きと学ぶことができるよう、安全・安心で利用しやすく、環境負荷の低減にも配慮した教育環境の整備をすすめます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「学校教育の環境整備」については、小・中学校校舎の耐震化率が目標値を上回りました。屋内体育館を含めた学校施設全体の耐震化率で見ると77.9%となり、全国平均(73.3%)を上回っている状況です。これは、耐震第二次診断により耐震性が確認されたことや、耐震改修事業を行ったことによるものです。また、新たな学校給食調理場の手法等の検討資料とするため、学校給食調理場建設事業化調査を実施しました。</p> <p>(2)「社会教育の環境整備」については、図書館において、食文化やビジネス支援、子育て支援などに関する図書資料の整備をすすめるなど、市民ニーズに応える蔵書の充実に努めた結果、「市民一人当たりの図書等の貸出点数」については、5.7点と目標値を上回りました。また、動物園正門のリニューアルや、市民文化ホール小ホールの舞台装置改修のほか、研修や講演などの利用に対応できるコンベンション機能を充実するため、百年記念館2号室の改修を行いました。さらに、我が国で2施設目となる屋内スピードスケート場「明治北海道十勝オーバル」をオープンし、国内トップ選手の模範滑走などのオープニングセレモニーを行いました。</p> <p>(3)「保育・体験活動の環境整備」については、農村部に児童保育センター2か所を新設しました。また、児童会館においては、電子顕微鏡、高速度カメラを導入するなど、子どもたちの科学に親しむ機会を充実したほか、地球温暖化を考える科学展示「地球のようす館」をオープンしたことなどから、入館者数が目標値を達成しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「学校教育の環境整備」については、学校施設の耐震化を引き続き計画的にすすめるとともに、早期に新たな学校給食調理場基本構想を策定する必要があります。また、学校施設・設備の老朽化がすすんでいることから、計画的な維持管理に取り組む必要があります。</p> <p>(2)「社会教育の環境整備」については、利用者サービスの向上と安全性の確保をはかるため、計画的な整備による施設の延命化や、適切で安定した管理運営をすすめる必要があります。</p> <p>(3)「保育・体験活動の環境整備」については、保育所や児童保育センターの計画的な整備や、児童会館の耐震化・老朽化対策をすすめる必要があります。また、児童会館において、展示品などの施設の更新や、それらを活用した事業の充実をはかり、リピーターの獲得や新たな利用者の掘り起こしをはかる必要があります。</p>

参考 1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
小・中学校校舎の耐震化率（％）	46.5	73.1	100.0
		50.0	
市民1人当たりの図書等の貸出点数（点）	5.4	5.7	7.0
		5.5	
児童会館の入館者数（万人）	10.9 (H17-19 平均)	11.2	12.0
		11.2	

貸出点数は年間の点数

参考 2：主な取組みの内容

学校施設の耐震化

学校施設は、児童生徒等にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急の避難場所となるなど地域の防災拠点としても重要な役割を担っており、その安全性の確保はきわめて重要です。平成 21 年度は、若葉小学校体育館の改築と、大空小学校・大空中学校体育館の耐震補強を行いました。校舎については、小学校 12 校、中学校 10 校について耐震第二次診断を実施しましたが、このうち 5 校について耐震性が認められる結果となりました。



改築した若葉小体育館

おびひろ動物園

動物園では、施設の再整備として、平成 21 年度、開園当時からある正門・トイレ・旧管理事務所を撤去し、券売所・物品庫を備えた正門を整備したほか、おびひろ動物園協会から寄附を受けて、展示研修室・ボランティアルーム・授乳室・トイレを備えた動物園センターを設置し、展示やボランティア講座などの会場として活用いただいています。また、動物に関心を持ってもらうため、「一日飼育係」、「裏側探検」、「スポットガイド」、「エサタイム」などのプログラムを実施しているほか、動物園ホームページ、飼育員ブログを通じて、動物たちの生きた情報を発信しています。



新しい動物園正門と
動物園センター

基本方向4	教育機会の確保
家庭の経済状況や障害の有無などに関わらず、安心して教育を受けることができるよう、教育機会の確保に向けた取組みをすすめます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「就学・進学への支援」については、幼稚園就園奨励費補助、就学援助、私立高校教材教具費補助、私立高校授業料補助、奨学資金貸付事業などの経済的支援を行い、子どもの教育機会の確保に努めました。また、市内高校の間口確保のため、「帯広市高等学校間口対策協議会」を中心に、情報収集及び要請活動をすすめました。</p> <p>(2)「健やかな発達の支援」については、特別支援学級の開設要望を踏まえ、計画を前倒して開設したことから、特別支援学級の設置数が目標値を上回りました。また、特別支援教育の支援員（助手、補助員、生活介助員）を引き続き配置したほか、小学校1校において身障者用トイレを改修し、障害のある児童生徒の教育環境の充実をはかりました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「就学・進学への支援」については、厳しい経済情勢を背景として、家庭の教育費負担が依然として課題となっており、幼稚園就園奨励費補助、就学援助、私立高校教材教具費補助、私立高校生授業料補助、奨学資金貸付事業などの経済的支援を継続していく必要があります。また、少子化を背景として、市内高校の間口が減少傾向で推移していることから、「帯広市高等学校間口対策協議会」を中心とした活動に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>(2)「健やかな発達の支援」については、地区のバランス、対象者の推移を見ながら、特別支援学級開設を計画的にすすめるとともに、引き続き支援員を配置するなど、障害のある児童生徒の教育環境をさらに充実していく必要があります。また、特別支援教育を推進する校内体制の充実や、効果的な指導を行うための工夫と改善に努めるほか、長期的な視点に立って、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた一貫した支援を行うためのしくみについて、検討をすすめる必要があります。</p>

参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
特別支援学級の設置数（学級）	38	47	59
		42	

参考2：主な取組みの内容

教育機会を確保する経済的支援

帯広市教育委員会では、子どもたちが家庭の経済状況に関わらず安心して教育を受けることができるよう、経済的支援を行っています。その一つが就学援助で、小・中学校へ通う子どもの給食費や学用品費などを支援しています。平成21年度には、新たな取組みとして、むし歯等を無償で治療できる医療券の使用期間を3ヶ月間延長し、体育授業で使用するスケート靴の引換券を小1、小4、中1へ発行しました。また、高校以上の修学に必要な資金の一部を貸与する「奨学資金貸付」や、公立と私立の高校授業料格差を縮小するため、私立高校に在学する生徒がいる保護者を対象に授業料補助を行っています。



学用品(イメージ)

特別支援教育の推進

「特別支援教育」とは、障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うものです。平成21年度には、情緒学級を新たに4校で開設し、小・中学校41校中26校に拡充しました。また、介助が必要な児童生徒のために26名の生活介助員を配置したほか、発達障害などの学習困難を抱える児童生徒のために33名の特別支援教育補助員を配置しました。



特別支援教室の例

基本方向5	よりよい教育のためのしくみづくり
地域の実情に応じた、より質の高い、魅力ある教育を推進するため、よりよい教育のためのしくみづくりをすすめます。	

点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「魅力ある学校づくりの推進」については、保護者などの学校関係者による評価を取り入れた学校評価がすすんできています。また、小規模校の特色を生かした教育活動を通じて、豊かな人間性を育むことを目的に実施している小規模特認校制度を、新たに愛国小学校で導入しました。</p> <p>(2)「学校教育のしくみの工夫改善」については、帯広南商業高校において、近隣中学校との連携がすすんでいるほか、小・中学校の適正配置について、帯広第三中学校及び帯広第六中学校を統合し平成23年度に開校する翔陽中学校、及び平成24年度の豊成小学校移転改築に向けて、地域住民との協議検討をすすめました。</p> <p>(3)「社会教育施設の利用の促進」については、他都市の動物園の知名度アップに伴う動物園への関心の高まりに加え、獣舎の整備や、飼育員ブログなどの情報発信などの取組みを通じて、動物園の利用者数が増加しました。また、百年記念館と図書館の合同企画「昭和の記憶 あのころの時代へ」や、百年記念館と動物園による「アイヌ語で動物園かんさつ」などの連携事業を実施しました。</p> <p>(4)「地域の実情に応じた教育行政の推進」については、教育・文化・スポーツに関する基本的指針として、「帯広市教育基本計画」を策定したほか、教育懇談会を初めて開催し、教育に関する情報提供や市民との意見交換などを行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「魅力ある学校づくりの推進」については、保護者や学校評議員などの理解と協力を得ながら、学校評価の充実と評価結果を踏まえた学校運営の改善に引き続き努める必要があります。</p> <p>(2)「学校教育のしくみの工夫改善」については、いわゆる「小1ギャップ」や「中1プロブレム」などが指摘される中、幼・保・小・中学校の連携や交流が求められており、児童生徒の発達段階に応じたなめらかな接続に取り組む必要があります。また、少子化の一層の進行や、国における学級編制基準の引き下げの動きを踏まえ、平成18年度に策定した小中学校適正配置計画の見直しをすすめる必要があります。</p> <p>(3)「社会教育施設の利用の促進」については、スポーツ施設の利用者数が目標値を上回ったものの、景気低迷の影響で大型イベントが減少傾向にあることなどから、社会教育施設及び文化施設の利用者数が目標値を下回りました。今後とも、利用者サービスの向上に努めるとともに、学びの場として魅力を感じてもらえるよう、施設間の連携による共同事業をすすめていく必要があります。</p> <p>(4)「地域の実情に応じた教育行政の推進」については、課題研究協議会の開催などにより、教育委員会における論議の活性化に引き続き努めるとともに、教育懇談会における論議を充実していく必要があります。</p>

参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H21 実績値	H31 目標値
		H21 目標値	
社会教育施設の総利用者数（万人）	95.2	92.2	95.2
		95.2	
文化施設の利用者数（万人）	54.8	53.6	60.0
		60.0	
スポーツ施設の利用者数（万人）	114.8	126.6	128.6
		124.7	

参考2：主な取組みの内容

小規模特認校制度

小規模特認校制度は、農村地域の豊かな自然環境や小規模校の特色を生かした教育活動を通じて豊かな人間性を育てることを目標に、一定の条件のもと市内居住者であれば住所を変更することなく特認校への通学を認めるものです。平成21年度には、清川小学校に2名の児童が通学したほか、愛国小学校に新たに導入し、5名の児童が制度を利用しました。広い学校農園を利用した野菜などの栽培や近くの河川での自然観察会、地域の人たちとの交流など、小規模校ならではの体験活動を行いました。



学校で採れたダイコン（清川小）

帯広南商業高校と中学校の連携

帯広南商業高校では、近隣の中学校との連携をすすめてきています。英語学習については、高校に導入しているインターネットを利用した英語学習システムを活用し、生徒が英語学習の手引書を作成し、中学生に英語学習についてのサポートを行いました。また、部活動については、ボランティア活動の一環としてバレーボール部、バスケットボール部等の生徒が、中学生に指導を行いました。先輩たちから直接手ほどきを受けることができ、中学生にとって貴重な経験となっています。



南商生によるバドミントンの指導

3 教育に関する学識経験者の意見

帯広畜産大学学長 長 澤 秀 行

今年度の点検・評価報告書は、昨年度策定された「帯広市教育基本計画」の個別目標ごとに取組みの成果がまとめられており、各事業が順調にすすめられているという印象を強く受けました。また、それぞれの個別目標の課題及び今後の方向性についても、具体的な取組みについてふれながら、分かりやすくまとめられていると感じます。全体として、個別目標ごとに整理され、写真なども取り入れながら、これまで以上に分かりやすい報告書になっていると思います。

一方で、一部、特に目標値に達しなかった事項について、課題の抽出が不明確なところが見受けられます。方向性についてはよく理解できますが、成果が不十分であった原因を把握しなければ、今後、目標を達成することは困難になるのではないかと考えます。

具体的には、個別目標1-1「知識・技能の習得」において、「課題及び今後の方向性」として、少人数指導の充実や、学習情報の幅広い提供、帯広南商業高校におけるキャリア教育の充実、情報モラルの育成などの必要性は示されていますが、何故こういった取組みが必要とされているのか、その根拠となる課題が明確ではありません。個別目標1-4「人間を尊重し自然と共生する人づくり」なども、課題の不明確さでは同様です。今後、目標を着実に達成していくため、課題を的確に把握するとともに、多くの方々と共有できるよう広く情報発信していく必要があると思います。

具体的な取組みに関わっては、個別目標1-2「豊かな心の育成」のうち、不登校生徒の学校への復帰が大きな課題です。報告書にあるとおり、子どもたちの抱える事情はますます複雑化していますが、すべての子どもたちがいきいきと学べる機会を確保していくことは、公教育に求められる重要な役割ではないかと思えます。今後、改善に向けた具体的な対応策を積極的に推進していただきたいと思えます。

また、個別目標1-3「健やかな体づくり」については、今後とも積極的に推進していただきたいと思えます。言うまでもなく、スポーツは体力づくりのみならず、社会生活に必要な連携や協働の精神を培う上で有効なものです。例えば、ラグビーなどの集団競技は、初心者も参加しやすく、親しみやすいものであり、学校や総合型地域スポーツクラブなどにおける身近なスポーツ活動として、今後ともさらに推進する必要があると思えます。

よりよい教育のためのしくみづくりのために、学校・家庭・地域の連携による教育の推進や、幼・保・小・中学校の連携や交流が求められることは、報告書に指摘されている通りであると思えます。さらに今後は、こうした連携に加え、大学も含めた地域全体で教育を支援する取組みを推進していただきたいと思えます。

元帯広市社会教育委員長 樋 渡 康

平成22年度の点検・評価に当たり、子どもや大人の学びの現場に関わってきた立場から意見を申し述べます。

「次代を担う人づくり」については、各学校において学校改善プランや活力ある学校づくり支援事業などの取組みが積極的にすすめられていること、あるいは家庭と連携した取組みがすすんできたことなどにより、標準学力検査が目標値を達成したことが評価できます。今後、教育委員会や学校からの情報発信を充実し、家庭との協力をこれまで以上にすすめていく必要があると考えます。

また、市民ギャラリーや明治北海道十勝オーバルなど、文化・スポーツ活動の拠点が充実したことや、身近なスポーツ機会の充実により、健やかな体づくりがすすんできたことが評価できます。スポーツについては、競技性・競技力の向上に加え、健やかな体づくり、基礎的な体力づくりも重要です。この側面から、さらに積極的に施策を推進していただくよう期待します。

「ともに学びきずなを育む地域づくり」については、生涯学習コーディネーター養成課程の修了者により組織された「生街楽集の学舎」が、新たな試みとして評価できます。市民の学習活動の進行役・サポート役として、地域における取組みとより一体となりながら、さらなる活動を展開されることを期待します。

また、子どもたちがふるさとに誇りと愛着を感じ、将来の発展の担い手として育っていくためには、自然等に直接ふれる活動など、地域に根ざしたさまざまな体験が求められます。こうした体験の機会を、行政と学校・家庭・地域が連携して一層充実する必要があると考えます。

「基本目標を実現するための基盤づくり」については、学校支援ボランティアや子どもの居場所づくりなど、さまざまな活動が広がり、内容も充実しつつあります。特に学校支援については、全国・全道的にも高く評価されており、今後ともさらに輪が広がり、活動が活性化していくよう、行政としての支援策の充実を期待します。

また、図書館や動物園、百年記念館などにおいて、施設整備や多彩な学習活動が展開されたことが評価できるほか、特別支援教育の取組みが積極的にすすめられていることが伺えます。また、関係者の一人として、学校評価や学校評議員制度が、よりよい学校づくりにつながりつつあると感じています。

教育の取組みは、行政はもとより、学校・家庭・地域など、多くの方々の協力が不可欠です。このため、教育委員会には、今後ともより積極的に充実した情報発信に努め、市民との意識共有をすすめられることを期待します。

参 考 资 料

平成 21 年度教育委員会の活動状況

(1) 帯広市教育委員名簿

平成 22 年 3 月 31 日現在

役職	氏名	備考
委員長	田中 厚一	平成 20 年 12 月 22 日委員長就任
委員長職務代理者	市之川敦子	平成 20 年 12 月 22 日職務代理者就任
委員	門屋 充郎	平成 20 年 6 月 23 日就任
委員	伊藤 成昭	平成 20 年 12 月 21 日就任
委員 (教育長)	本迫 哲	平成 20 年 10 月 26 日就任

(2) 教育委員会会議の開催状況 (平成 21 年度)

期日	番号	案件
第 10 回 平成 21 年 4 月 24 日	報告第 13 号 議案第 22 号 議案第 23 号 その他	帯広市市民文芸誌編集委員の委嘱について 帯広市立学校設置条例の一部改正について 帯広市図書館協議会委員の任命について (1) 平成 21 年度学級編制・児童生徒数について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
第 11 回 平成 21 年 5 月 20 日	議案第 24 号	帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正について
第 12 回 平成 21 年 5 月 25 日	議案第 25 号 議案第 26 号 議案第 27 号 議案第 28 号 議案第 29 号 その他	平成 21 年度帯広市一般会計補正予算について 帯広市奨学生選考委員会委員の委嘱について 帯広市教育研究所運営委員の委嘱について 帯広市学校給食共同調理場運営委員の任命について 帯広市スポーツ振興審議会委員の任命について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について その他・新型インフルエンザの対応について
第 13 回 平成 21 年 6 月 12 日	議案第 30 号	教職員の処分内申について
第 14 回 平成 21 年 6 月 23 日	報告第 14 号 報告第 15 号 報告第 16 号 報告第 17 号 議案第 31 号 議案第 32 号 議案第 33 号 議案第 34 号 議案第 35 号 その他	小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みについて 教職員の処分について 平成 20 年度の学校評価について 活力ある学校づくり支援事業の採択結果について 帯広市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則制定について 帯広市文化財審議会委員の委嘱について 帯広市民文化ホール運営審議会委員の委嘱について 帯広百年記念館運営審議会委員の委嘱について 帯広市教科用図書選定委員会委員の任命及び委嘱について (1) 帯広市議会 6 月定例会の報告について (2) 教員リーダー養成「21 世紀教師塾」の取り組みについて (3) 今後の事業予定について (4) 寄附受納について その他・子ども読書応援プロジェクト、子ども読書地域スクラム事業
第 15 回 平成 21 年 7 月 16 日	報告第 18 号 議案第 36 号 議案第 37 号 その他	平成 20 年度学校評価について 平成 21 年度帯広市一般会計補正予算について 帯広市社会教育委員の委嘱について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
第 16 回 平成 21 年 8 月 12 日	報告第 19 号 議案第 38 号 議案第 39 号 その他	南商業高等学校用教科用図書の採択について 小学校用教科用図書の採択について 中学校用教科用図書の採択について (1) 教科用図書の採択にかかる情報の公表について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
第 17 回 平成 21 年 8 月 25 日	議案第 40 号	教職員の処分内申について

期日	番号	案件
第18回 平成21年9月11日	報告第20号 報告第21号 議案第41号 議案第42号 その他	帯広市立西小学校における灯油漏洩事故処理の終息について 全国学力・学習状況調査の結果について 平成20年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について 平成21年度帯広市一般会計補正予算について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について その他・屋内スピードスケート場の今後の利活用について ・第六期帯広市総合計画原案について
第19回 平成21年9月18日	報告第22号 報告第23号 報告第24号 議案第43号 議案第44号 議案第45号 その他	小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みについて 全国学力・学習状況調査の結果について 帯広市市民文芸誌応募結果について 帯広市小、中学校通学区域規則の一部改正について 平成21年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の決定について 平成21年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について (1) 寄附受納について その他・新型インフルエンザの状況について
第20回 平成21年9月28日	議案第46号	職員の人事について
第21回 平成21年10月26日	報告第25号 報告第26号 議案第47号 議案第48号 その他	教職員の処分について 平成21年度帯広市市民文芸誌特集コーナーの表彰について 平成22年度帯広市立高等学校の入学者募集について 平成21年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸佳作賞の決定について (1) 帯広市議会9月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について その他・福祉関係者のスポーツ賞の状況について
第22回 平成21年11月18日	議案第49号	帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正について
第23回 平成21年11月20日	報告第27号 報告第28号 報告第29号 報告第30号 議案第50号 その他	小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みについて とちぎプラザ運営審議会委員の委嘱について 明治北海道十勝オーバルにおける世界大会の開催について 帯広市教育基本計画(素案)について 平成21年度帯広市一般会計補正予算について (1) 教育懇談会の開催について (2) 学力向上プロジェクトについて (3) 今後の事業予定について (4) 寄附受納について
第24回 平成21年12月22日	選挙執行(1) 選挙執行(2) 議案第51号 その他	帯広市教育委員会委員長の選挙について 帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙について 教職員の処分内申について (1) 帯広市議会12月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
第1回 平成22年1月22日	報告第1号 議案第1号 議案第2号 その他	学力向上プロジェクトの報告について 帯広市教育基本計画(原案)について 学校管理職降任願について (1) 平成21年度教育行政視察の実施について (2) 今後の行事予定について (3) 寄附受納について
第2回 平成22年2月2日	議案第3号	帯広市図書館協議会委員の任命について
第3回 平成22年2月10日	報告第2号	平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

期日	番号	案件
第4回 平成22年2月16日	報告第3号 報告第4号 報告第5号 報告第6号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号	教職員の処分について 平成22年度帯広市学校教育指導の重点について 平成21年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について 第二期帯広市子どもの読書活動推進計画（案）について 平成21年度帯広市一般会計補正予算について 平成21年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について 平成22年度帯広市一般会計予算について 帯広市職員定数条例の一部改正について 教員の人事内申について 帯広市教育基本計画（案）について 帯広市体育施設条例の一部改正について 帯広市帯広の森屋内スピードスケート場建設基金条例を廃止する条例の制定について
第5回 平成22年3月19日	議案第12号	平成21年度帯広市一般会計補正予算について
第6回 平成22年3月26日	報告第7号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 その他	小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みについて 帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 帯広市教育委員会職員職名規則の一部改正について 帯広市立学校管理規則の一部改正について 帯広市立学校施設の使用に関する規則の一部改正について 職員の人事について 帯広市教育基本計画について 帯広市図書館処務規程の一部改正について 帯広百年記念館条例施行規則の一部改正について 帯広百年記念館処務規程の一部改正について とちぎプラザ処務規程の一部改正について 帯広市動物園処務規程の一部改正について (1) 帯広市議会3月定例会の報告について (2) 今後の行事予定について (3) 寄附受納について その他・教育懇談会 ・こども読書計画

・教育委員会会議開催回数 21回
議決案件 55件 うち非公開 25件
報告案件 25件 うち非公開 7件
その他 39件 うち非公開 1件

(3) 課題研究協議会開催状況（平成21年度）

回数	開催日時	テーマ
1	平成21年5月25日	平成20年度帯広市学校給食調理場建設手法等調査業務報告について （仮称）帯広市教育基本計画における全体構成等について
2	平成21年6月29日	教科用図書の採択について （仮称）帯広市教育基本計画について（全体構成）
3	平成21年7月27日	屋内スピードスケート場の視察 （仮称）帯広市教育基本計画について（社会情勢）
4	平成21年8月4日	教科用図書の採択について
5	平成21年8月27日	（仮称）帯広市教育基本計画について（社会情勢、帯広市の現状と課題）
6	平成21年8月31日	（仮称）帯広市教育基本計画について（帯広市の現状と課題）
7	平成21年9月11日	（仮称）帯広市教育基本計画について（帯広市の現状と課題）
8	平成21年11月10日	（仮称）帯広市教育基本計画について（素案）
9	平成21年12月18日	（仮称）帯広市教育基本計画について（素案）
10	平成21年12月22日	帯広市教育基本計画（原案）について
11	平成22年2月10日	新たな学校給食調理場に関する調査報告について

・課題研究協議会開催回数 11回

(4) 研修会参加状況(平成21年度)

日時	場所	研修会等	出席者
平成21年9月2日	稚内市	平成21年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会	2名
平成21年10月21日	帯広市	平成21年度十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会	5名
平成22年1月27日～29日	東京都 千葉県	平成21年度教育行政視察	3名

3回 延べ10名参加

(5) 行事等参加状況(平成21年度)

日時	行事名	出席者数
平成21年4月9日	帯広南商業高等学校入学式	4名
平成21年4月24日	平成21年度帯広市教育研究会結成大会	5名
平成21年5月30日・平成21年6月1日	市内中学校体育祭	6名
平成21年5月30日・平成21年6月10日	市内小学校運動会	13名
平成21年8月29日	2009「全道シニアスポーツinおびひろ」交流会	2名
平成21年8月30日	明治北海道十勝オーバルオープニングセレモニー	5名
平成21年9月3日	帯教研教育講演会	2名
平成21年9月12日	プラザまつり	1名
平成21年9月16日～平成21年12月13日	市内小中学校公開研究会・式典等(21件)	40名
平成21年9月23日	帯広市功労者表彰式	4名
平成21年10月2日	南商モニュメント	1名
平成21年10月12日	平成21年度帯広市スポーツ賞・スポーツ奨励賞贈呈式	5名
平成21年11月3日	平成21年度帯広市文化賞文化奨励賞贈呈式	4名
平成21年11月16日	ふるさと給食	5名
平成21年11月21日	平成21年度市民文芸賞贈呈式及び祝賀会	4名
平成22年1月4日	帯広市新年交礼会	5名
平成22年1月11日	帯広市成人式	5名
平成22年1月15日	帯広市体育連盟功労賞授賞式・新年交礼会	1名
平成22年1月20日～平成22年2月5日	教育懇談会(6回)	18名
平成22年1月26日	給食交流会	5名
平成22年2月25日～平成22年3月11日	平成21年度帯広市教育研究実践表彰及び文化活動奨励賞授賞式(3件)	7名
平成22年3月1日	帯広南商業高等学校卒業式	5名
平成22年3月7日	教育基本計画掲載絵画表彰式	4名
平成22年3月15日	中学校卒業式	4名
平成22年3月24日	小学校卒業式	1名

延べ156名

平成 21 年度教育行政執行方針

．はじめに

平成21年度の教育行政につきまして、帯広市教育委員会の基本的な考え方を申し上げます。

近年、わが国は、社会経済情勢の急激な変化に伴い、様々な分野で制度の見直しが行われており、教育におきましても、教育基本法や関連法令等の改正に基づく具体的な改革が進められております。

また、21世紀は、知識基盤社会と言われており、新しい知識や技術を習得し、社会のあらゆる領域に活かしていく必要があるものと考えております。

帯広市の未来を託す子どもたちが健やかに成長できる環境の整備や、心豊かに生き生きと学び合うことができる生涯学習の推進は、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりに大きく寄与するものと考えております。

．基本的な考え方

学校教育におきましては、児童生徒の「知・徳・体」の調和ある発達に努め、激しく変化する社会をたくましく「生きる力」の育成を目指します。

そのため、新しい学習指導要領の確実な定着をすすめながら、各学校や教職員の熱意と創意工夫が十分に発揮され、子どもたち一人ひとりの目標や課題に応じた教育活動が展開されるよう、教育内容の充実にも努め、確かな学力の定着とともに、豊かな心と健やかな体を育くむ取り組みをすすめてまいります。

また、家庭や地域と連携・協力して教育活動を展開する開かれた学校づくりを推進し、社会全体で教育の向上に努めてまいります。

学校教育施設につきましては、子どもたちの安全・安心を確保するとともに、質の高い教育環境の整備を推進してまいります。

生涯学習におきましては、「帯広市生涯学習推進計画」に基づき、市民一人ひとりがそれぞれのニーズに応じた学習・文化・スポーツに取り組むことができるよう「学習機会の充実」をはかるとともに、生涯学習施設を通じた質の高いサービスや多様な活動の場の提供に努めてまいります。

また、計画的な教育行政の推進をはかるため、新しい総合計画の分野計画となる「(仮称)帯広市教育基本計画」を策定してまいります。

・主要施策の推進

次に、主な施策について申し上げます。

） 学校教育の主要施策

学校教育につきましては、第五期総合計画の具現化を図る「次代を担う『おびひろっ子』を育むプロジェクト」を基本として、教育制度の改正などを踏まえて施策を推進してまいります。

教育指導の充実

多様な教育の推進では、教育の質の向上を目的に、「活力ある学校づくり支援事業」を実施し、各学校の自主的な教育の支援に努め、確かな学力の定着を推進してまいります。

地域の特性を生かした教育の推進では、ふるさとの自然や基幹産業である農業などを体験する郷土体験学習・自然体験学習の充実に努めるほか、環境保全に対する児童生徒の実践的な学習を推進するため、環境教材の研究や学校独自の環境教育を支援してまいります。

心豊かな教育では、正義感や倫理観、生命を尊重する心や人を思いやる心などの育成に努めるとともに、いじめ、非行などの問題行動や不登校の児童生徒に対し、一人ひとりの態様を踏まえたきめ細かい支援を行うとともに、相談体制の充実や関係機関等との連携を深めてまいります。

時代変化に対応する教育としては、児童生徒が情報を適切に判断できる能力を育成するとともに、情報モラルの向上に努めるほか、引き続き、外国人との交流機会などを通し、国際理解教育の充実をはかります。

教員の資質向上では、個人の自発的な研究を支援し、研修成果を他の教職員に積極的に公開し研修効果を波及するなど、様々な研究実践を通して、教員の資質向上をはかるほか、教員リーダーの養成を目的とした「21世紀教師塾」を引き続き実施するとともに、新学習指導要領への対応など、各種研修講座の充実に努めます。

教育環境整備の推進

特別支援教育につきましては、障害児教育の充実をはかるため、新たに稲田小学校、大空小学校、第二中学校の3校に情緒障害学級を開設するとともに、引き続き、障害のある子どもたちに対し、適切な支援を行ってまいります。

また、新たに愛国小学校を小規模特認校として、豊かな自然環境に恵まれた中、少人数で温かなきめ細かい教育をすすめてまいります。

学校図書につきましては、蔵書の整備に努めるとともに、児童生徒の読書活動や調べ学習を支援するため、学校図書館活性化支援事業の対象校を拡充し、学校図書館の機能の充実と活性化をはかります。

学校・家庭・地域の連携の推進

開かれた学校づくりの推進では、学校評価の実施とその結果の公表をはかり、教育内容の地域への積極的な公開・情報提供に努めるとともに、学校に関わるボランティアの皆さんの協力のもと、地域の教育力を生かす学校支援地域本部事業の拡充に努めてまいります。

また、児童生徒の総合的な安全対策では、学校が核となり、PTAや地域町内会、さらには関係団体などが一体となった見守り活動の継続に向けた支援に努めてまいります。

適正配置及び学校整備の推進

小中学校の適正規模・適正配置計画に基づき、引き続き、学校関係者並びに地域の方々の意見を聞きながら、第三中学校・第六中学校の統合新校の耐震改修と増築、及び豊成小学校移転改築に向けた実施設計等を実施してまいります。

学校の耐震化につきましては、本年度、栄小学校の校舎・体育館の基本設計を実施してまいります。

なお、若葉小学校の体育館改築、大空小・中学校の体育館耐震補強工事及び啓西小学校及び第一中学校の体育館改築に向けた実施設計、さらには、今後の校舎の計画的な改修をすすめるため、小学校12校、中学校10校の耐震第二次診断を、いずれも平成20年度の繰越明許により実施してまいります。

食育及び給食の充実

学校給食につきましては、食材等の高騰に伴い、給食費を改定いたします。

今後とも、給食を活用した食育の展開を推進するとともに、地場産品の活用や地産地消の推進、ふるさと給食の充実や給食指導に努めるなど、子どもたちの健やかな成長のため、安全安心で質・量とも充実した給食を提供してまいります。

また、新たな給食調理場の建設に向けて、事業化調査を実施してまいります。

高等学校教育の充実

南商業高等学校では、新たにアメリカの姉妹都市マディソン市への生徒派遣英語研修を実施するほか、近隣中学校との連携事業を実施いたします。

) 生涯学習の主要施策

生涯学習につきましては、市民一人ひとりが、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現のため、市民の学習・文化・スポーツ活動を総合的に奨励、支援する施策を積極的に進めてまいります。

学習活動の支援

はじめに、学習活動につきましては、地域について理解を深め、地域社会づくりに参画する市民に、学習の場を提供する「市民大学講座」の内容充実に努めます。

また、市民や団体等の学習活動を支援する生涯学習コーディネーターの活動の促進に努

めてまいります。

図書館におきましては、蔵書の充実を図るとともに、調べ学習や課題解決に役立つ情報の提供など、市民生活に密着した図書館サービスの向上に努めてまいります。

百年記念館では、北海道立帯広美術館で開催される「アイヌの美 カムイと創造する世界」と連動し、特別企画展（仮称）ロシアのアイヌコレクション展を北海道立帯広美術館との連携事業として初めて開催するほか、各種講座や出前講座「ミニ百年記念館」など、学習機会の充実に取り組んでまいります。

動物園では、おびひろ動物園協会からボランティアの活動拠点や各種事業などに活用できる（仮称）動物園センターの寄付を受けるほか、園の顔である正門及び周辺環境整備を行うなど、魅力ある動物園づくりを進めてまいります。

芸術・文化の振興

次に、芸術・文化につきましては、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、プラハ国立歌劇場による「アイダ」公演や北海道立帯広美術館特別企画展「北大路魯山人展」を共催するなど、様々な文化事業を実施してまいります。

また、市民ギャラリー企画展や市民芸術祭の開催を通して、市民の発表・活動機会の提供に引き続き取り組んでまいります。

さらに、市民文化ホールの機能維持のため、小ホール舞台装置の改修を行います。

スポーツの振興

最後に、スポーツにつきましては、市民の健康・体力づくりを進めるため、帯広の森スポーツフェスティバルなどを実施するとともに、パークゴルフをはじめとするレクリエーションスポーツなどへの参加機会を提供します。

また、新たに北海道の委託を受け体力づくり講座や研修会、パネル展示などを行う「体力づくり普及促進事業」に取り組みます。

さらに、来年1月に「世界スプリントスピードスケート選手権大会」など、2つの国際大会を2週連続して開催するとともに、各種スポーツ大会・合宿の誘致に引き続き取り組みます。また、「スケートキングダム」やカーリング教室の開催などを通して、北国らしいスポーツの普及を進めてまいります。

スポーツ施設では、9月からの供用開始に向けて屋内スピードスケート場の整備を進めるとともに、完成に合わせ8月30日にオープニングセレモニーを開催いたします。

以上、平成21年度の教育行政執行にあたっての基本方針を申し述べさせていただきました。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 21 年度予算決算

(単位：円)

科 目	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	主な内容
教育費	7,770,002,560	6,066,482,389	1,449,775,000	
教育総務費	217,258,000	205,409,567	0	
教育委員会費	5,449,000	5,394,080	0	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	104,270,000	97,388,204	0	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業等
指導研修費	81,047,000	77,806,619	0	教育相談員・生徒指導専門指導員・外国人講師に係る報酬等
教育研究所費	21,043,000	20,428,361	0	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	5,449,000	4,392,303	0	教職員住宅の修理費等
小学校費	2,162,187,885	1,625,333,278	432,096,000	
学校管理費	580,083,000	553,987,724	0	小学校管理運営経費、プール・リノ造成・維持管理経費、学校保健経費、スクールバス運行経費等
学校営繕費	35,380,000	12,886,942	22,200,000	学校営繕経費
教育振興費	430,160,000	424,001,148	0	教材教具購入等経費、就学援助経費、学校図書整備経費、教育情報化経費等
施設整備費	223,830,635	178,322,733	38,800,000	学校備品・設備整備経費、リニューアル改修経費、耐震化事業経費等
学校建設費	892,734,250	456,134,731	371,096,000	小学校校舎・屋体整備経費（若葉小学校屋内体育館改築等）
中学校費	1,600,890,675	904,185,562	660,383,000	
学校管理費	263,454,378	257,547,590	0	中学校管理運営費、リノ造成・維持管理経費、学校保健経費、スクールバス運行経費等
学校営繕費	22,869,000	7,251,204	15,400,000	学校営繕経費
教育振興費	260,492,622	255,384,720	0	教材教具購入等経費、就学援助経費、学校図書整備経費、教育情報化経費等
施設整備費	394,431,075	365,436,998	23,600,000	学校備品・設備整備経費、リニューアル改修経費、耐震化事業系費等
学校建設費	659,643,600	18,565,050	621,383,000	中学校屋体整備経費
高等学校費	82,452,000	76,959,290		
学校管理費	51,916,588	47,051,249	0	南商管理運営経費、学校保健経費、外国人英語指導助手報酬等
学校営繕費	580,412	580,288	0	南商営繕経費
教育振興費	29,955,000	29,327,753	0	教材教具購入等経費、情報機器リース料、教育用情報化経費等

科 目	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	主な内容
社会教育費	1,116,211,000	1,053,753,166	18,148,000	
社会教育総務費	18,122,000	16,724,558	0	生涯学習指導員・相談員等報酬、講座開催経費等
文化振興費	22,679,000	21,733,706	0	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
とかちプラザ費	229,013,000	218,101,969	0	とかちプラザ管理運営経費
市民文化ホール費	300,868,000	295,047,618	0	市民文化ホール管理運営経費、修繕・改修経費、機器類リース料等
百年記念館費	99,337,000	86,868,668	7,900,000	百年記念館管理運営経費、講座開催経費、施設修繕・改修経費等
図書館費	244,576,000	236,468,432	0	図書館管理運営経費、図書資料等整備経費、郷土資料関連経費等
動物園費	168,700,000	151,425,190	10,248,000	動物園管理運営経費、施設修繕・改修経費等
市民ギャラリー費	32,916,000	27,383,025	0	市民ギャラリー管理運営経費
保健体育費	2,591,003,000	2,200,841,526	339,148,000	
保健体育総務費	78,145,000	70,549,422	0	スポーツ行事・活動関係経費、団体育成・大会開催経費、学校開放経費、指導者養成経費等
体育施設費	1,514,645,000	1,145,679,622	339,148,000	社会体育施設管理運営経費、施設修繕・改修経費等
学校給食共同調理場費	998,213,000	984,612,482		学校給食共同調理場管理運営経費、賄材料費、委託料等

翌年度繰越額は、継続費及び繰越明許費

○ 平成 21 年度における主な取組み一覧

(1) 次代を担う人づくり

① 知識・技能の習得

展開方策	主な取組み
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	活力ある学校づくり支援事業（豊かな学び支援 19 校、環境教育支援 13 校）、家庭学習の啓発、学校改善プランの取組み推進、子ども向け講座等（図書館 123 回、百年記念館 1 回、動物園 12 回）
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	学習情報の提供（動物園飼育員ブログ等）、趣味・教養講座（132 講座）、放送大学帯広学習室（158 科目）、生涯学習フェスティバル、高齢者学級（2 学級）、コミュニティ講座（188 講座）、百年記念館創造活動センター講座（11 回）、地域防災訓練（明星小）、冬季防災訓練（帯広小）、応急手当普及講習（6,347 人）、防火活動（59,775 人）、防火訪問（1,175 世帯）、市民防災フェスティバル（1,870 人）、防犯グッズ展、防犯街頭啓発・広報活動、交通安全教室（34,400 人）、新入学児童・高齢者に対する交通安全啓発、交通安全街頭啓発・広報活動、消費者講座・講演会・被害予防教育、みんなの消費生活展
職業に関する教育・学習活動の推進	南商インターンシップ事業（36 事業者）、南商学校開放講座（5 講座）
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	研究紀要「帯広の子ども学力」発行、ビデオ教材・データベース作成、校内 LAN 整備（36 校）、教育用コンピュータ（560 台）・大型デジタルテレビ（114 台）整備、

② 豊かな心の育成

展開方策	主な取組み
子どもの社会性の育成	郷土体験学習（小学 4 年生対象）、自然体験学習（中学 2 年生対象）、ふるさと学習（小 2 校、中 2 校）、適応指導教室の運営、生徒指導専門員・教育相談員の配置、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会の設置（56 名）、心の教室相談員（10 名）・家庭訪問相談員（2 名）・スクールソーシャルワーカー（3 名）の配置、教育相談センターの運営、南商におけるボランティア活動の推進（34 クラブ）、放課後子ども教室・広場（13 校、延べ 12,116 人）、中学生からのメッセージ事業、成人の集い（1,075 人）、地域子ども会リーダー宿泊研修会（152 名）、ジュニアリーダー養成講座（年 12 回）、児童会館での体験活動（宿泊利用 3,755 人、出前講座 650 人、文化講座 6,716 人）

展開方策	主な取組み
豊かな情操の育成と生きがいづくり	図書館活性化支援事業（小 26 校、中 11 校）、学校図書館土曜開放事業（小 5 校）、学校図書購入（小 9,903 冊、中 5,240 冊）、図書館・学校連携事業（ぶっくーる便等 271 件、学校図書館クリニック 2 校）、おびひろ市民芸術祭、新人演奏会、とかちサークル写真展、全十勝書道作品展、帯広市文化賞文化奨励賞、市民文藝発行（第 49 号、応募数 1,400 作品、市民文藝誌掲載数 838 作品）、小中学生のための礼響コンサート、第 21 回親と子のわくわく音楽会、プラハ国立歌劇場「アイーダ」、「ロバの音楽座」公演、読売日本交響楽団公演、ふるさと公演、ニューイヤーコンサート、帯広美術館特別企画展共催（北大路魯山人展）

③ 健やかな体づくり

展開方策	主な取組み
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	スポーツ教室・講習会（56 回）、スポーツ・レクリエーション事業（2 事業）、総合型地域スポーツクラブ支援（3 団体）、特定高齢者介護予防事業（924 回、延べ 7,778 人）、ひろびろ元気教室（64 回、延べ 822 人）、いきいき温泉事業（136 回、延べ 2,356 人）、認知症サポーター養成講座（養成数 724 人）
食育の推進と学校給食の充実	ふるさと給食（5 日）、多目的教室等を活用した給食の実施（4 校）、食育推進のための啓発活動（啓発リーフレットの全小中学校配付）、食に関する指導を推進する教員の指導力向上（教師・保護者・児童生徒向け講演会の開催）、農業技術センター展示場見学受入（1,099 人）、帯広っ子農業体験学校（8 組 22 名）、学童農園（20 団体）、食育出前教室（3 校）、食育フェスティバル（1 回）

④ 人間を尊重し自然と共生する人づくり

展開方策	主な取組み
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	ノーマライゼーション推進地区（4 地区）、障害者団体支援（2 団体）、男女共同参画セミナー（1 回、200 人）、女と男の一行誌募集（応募総数 807 作品、462 人）、男女共同参画情報誌の発行（2 回、各 3,000 部）、DV防止講演会開催（1 回 130 人）、DV防止啓発パンフレット作成（3,400 部）、ユニバーサルデザイン教室（4 回、333 人）
グローバル化に対応した教育・学習活動の推進	南商での外国人英語指導助手配置（1 人）、外国人講師派遣事業（24 回）、世界の絵本読み語り実施回数（12 回）、国際姉妹（友好）都市との交流（6 回）、十勝インターナショナル協会地域展開事業（17 回）
環境に関する教育・学習活動の推進	児童会館での体験活動（科学教室：15 事業 6,368 人）、出前環境教室（20 回）、環境にやさしい活動実践校の認証（2 校）、ごみ懇談会（15 回）、リサイクル啓発イベント（春、秋）

(2) ともに学びきずなを育む地域づくり

① ふるさとの理解の促進

展開方策	主な取組み
子どものふるさと教育の推進	郷土体験学習（小学4年生対象）、自然体験学習（中学2年生対象）、ふるさと学習（小2校、中2校）
地域に関する学習活動の推進	市民大学講座（34集）、博物館資料の収集・保管、自然環境の調査研究・紀要の発行、ふるさと再訪講座、帯広叢書の刊行（62・63巻）

② きずなづくり・まちづくり

展開方策	主な取組み
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	中学生からのメッセージ事業、成人の集い（1,075人）、地域子ども会リーダー宿泊研修会（152名）、ジュニアリーダー養成講座（年12回）、南商におけるボランティア活動の推進（34クラブ）、生涯学習コーディネーターの養成、ボランティア活動の受入れ（図書館）、語り手育成講習会（5回）
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	おびひろ市民芸術祭、とかちサークル写真展、全十勝書道作品展、スポーツ大会開催（27大会）、日韓競技大会開催種目数（1種目）、スポーツ合宿誘致（190団体）、スピードスケート国際大会（2大会）、プロスポーツ大会（1回）

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

① 学校・家庭・地域の連携

展開方策	主な取組み
開かれた学校づくり	学校図書館土曜開放事業（小5校）、地域開放学校数（30校）、学校評議員設置（全小中学校）、土曜あそびの森（25校、延べ7,665人）、南商学校開放講座等数（5講座）
家庭教育への支援	地域子育て支援センターの運営（6か所）、子育てガイドブックの作成（2,000部）、子育て講座（24回）
家庭や地域による教育支援の推進	学校支援ボランティアの活用促進（15校）、学校支援ボランティア地域コーディネーター研修会（4回）、子ども110番の家設置（1,188件：個人住宅555件、事務所633件）、放課後子ども教室・広場（13校、延べ12,116人）、土曜あそびの森の実施（25校、延べ7,665人）

② 教育を支える人材の育成

展開方策	主な取組み
教員の人間力・指導力の向上	教員リーダー養成「21世紀教師塾」(延べ123名)、教師の人材育成研修(13人)、個人研究サポートシステム・中央教育課題思潮等調査研究事業、全道教科担当指導主事研究協議会・いじめなど対策本部全道会議参加、帯広市特別支援教育研究大会紀要発行、教育課程検討委員会開催、帯広市教育研究会事業補助、教育研究実践表彰授賞、公開研究会実践校への補助
地域人材の発掘・育成・活用	新人演奏会、ふるさと公演、帯広市文化賞文化奨励賞、スポーツ指導者の講習会・研修会(2回)、競技力育成選手強化事業(20団体)、少年団指導者認定講習会(2回)、大会派遣補助(140件)、スケートキングダム(2回、小中学生対象のスケート教室)

③ 教育環境の充実

展開方策	主な取組み
学校教育の環境整備	AED全小中学校設置(継続)、校舎耐震補強工事(1校)、屋内体育館耐震補強工事(2校)、屋内体育館改築工事(1校)、校舎耐震第二次診断(22校)、学校リニューアル改修事業(17校)、新たな学校給食調理場の整備検討、子ども安全ネットワークの運用・改善
社会教育の環境整備	動物園正門整備、百年記念館2号室の改修、とかちプラザの地上デジタル放送対応ブースター改修、図書館蔵書の充実(433,337冊)、移動図書館バスの運行、市民文化ホール小ホール舞台装置・玄関ポーチ改修工事、小ホールクセノンピンスポットライト整流器交換
保育・体験活動の環境整備	児童保育センター整備(2か所)、児童会館の高度機器の導入(電子顕微鏡、高速度カメラ)、児童会館施設修繕・耐震診断の実施

④ 教育機会の確保

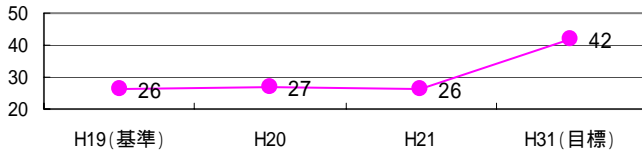
展開方策	主な取組み
就学・進学への支援	私立高校整備費助成(2校)、就学相談・指導(243件)、就学援助支給(小2,236名、中1,210名)、私立高校生授業料補助(317人)、奨学資金貸付(85人)、就園奨励費支給(1,569人)、私立幼稚園教育振興費補助(15園)
健やかな発達の支援	帯広市特別支援教育研究大会紀要印刷、保育所における障害児受入(26か所)、児童保育センターにおける障害児受入(24か所)、身障者用トイレの設置(1校)、特別支援教育補助員配置(33名)、生活介助員配置(26名)

⑤ よりよい教育のためのしくみづくり

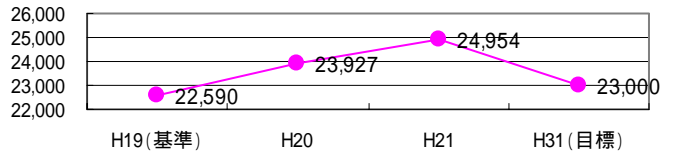
展開方策	主な取組み
魅力ある学校づくりの推進	特色ある学校づくり（全小中学校）、 小規模特認校制度 （2校）
学校教育のしくみの工夫改善	学校適正配置に関わる地域協議
社会教育施設の利用の促進	学習情報の提供 （ 動物園飼育員ブログ 等）、スポーツ活動に関するホームページでの情報提供（4項目）
地域の実情に応じた教育行政の推進	教育懇談会 （6か所）

成果指標の推移

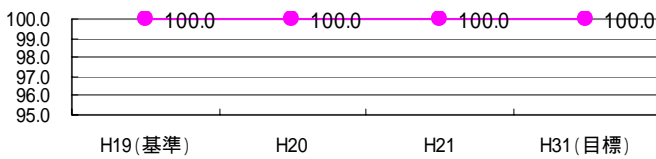
個別目標 1 - 1 : 知識・技能の習得



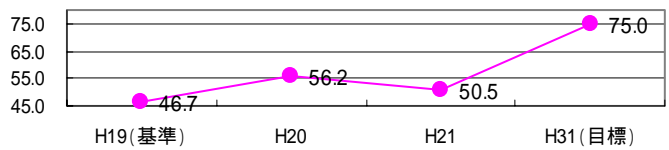
参考図 1 . 標準学力検査の目標基準到達観点数



参考図 2 . 帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数

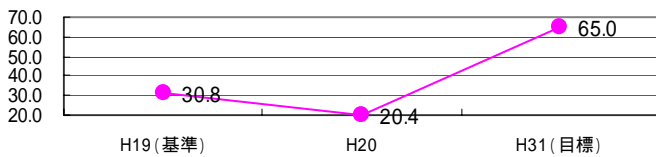


参考図 3 . 帯広南商業高等学校の就職率

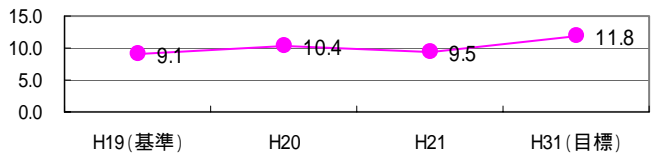


参考図 4 . 帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率

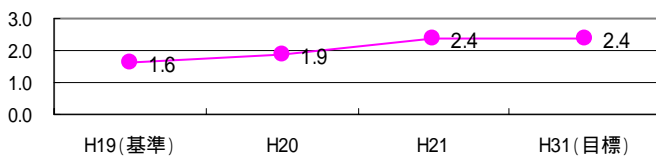
個別目標 1 - 2 : 豊かな心の育成



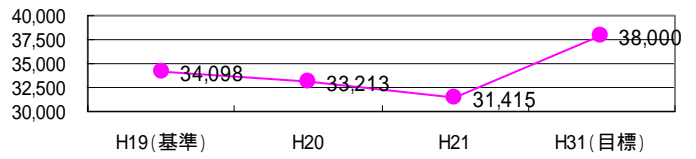
参考図 5 . 不登校生徒の復帰率



参考図 6 . 小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数

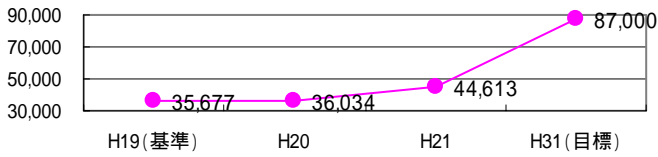


参考図 7 . 中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数

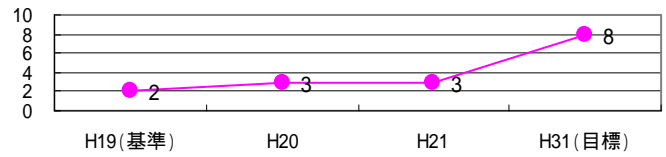


参考図 8 . 鑑賞事業の入場者数

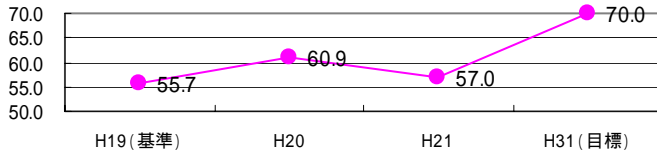
個別目標 1 - 3 : 健やかな体づくり



参考図 9 . スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数

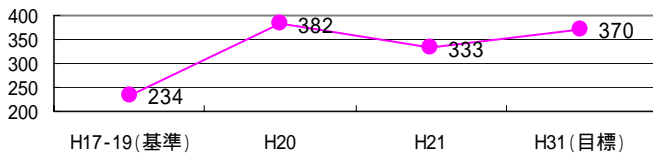


参考図 10 . 総合型地域スポーツクラブの設置数

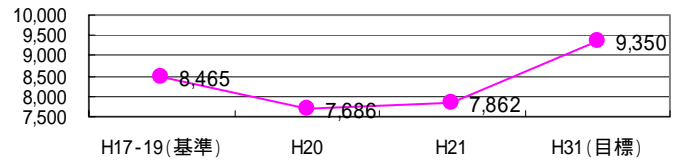


参考図 11 . 学校給食における地場産野菜の導入率

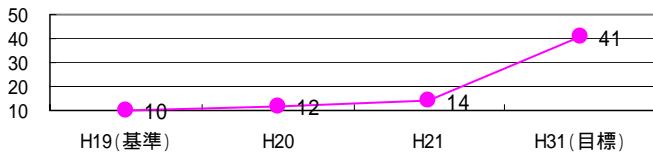
個別目標 1 - 4 : 人間を尊重し自然と共生する人づくり



参考図 12 . UDに関する講座等への参加者数

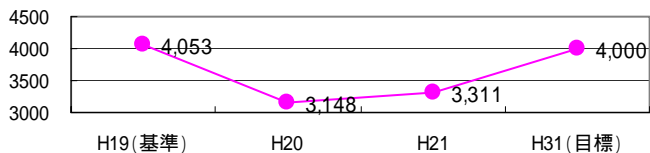


参考図 13 . 国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数



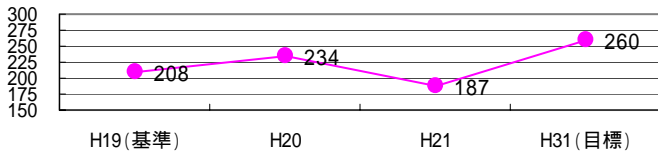
参考図 14 . 環境にやさしい活動実践校数

個別目標 2 - 1 : ふるさとの理解の促進

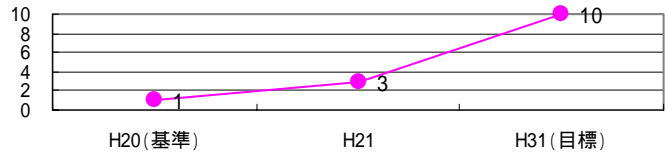


参考図 15 . 地域について学ぶ講座等への参加者数

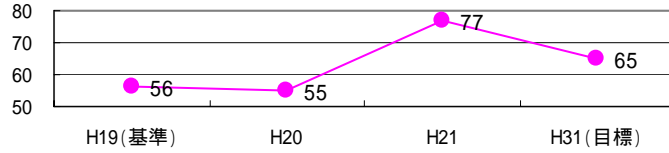
個別目標 2 - 2 : きずなづくり・まちづくり



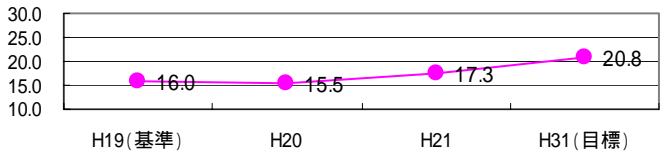
参考図 1 6 . 青少年リーダー養成事業参加者数



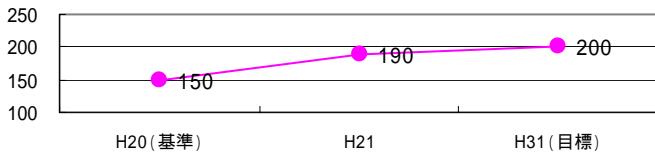
参考図 1 7 . 学習成果の活用事例数



参考図 1 8 . 発表・活動の場への参加団体数

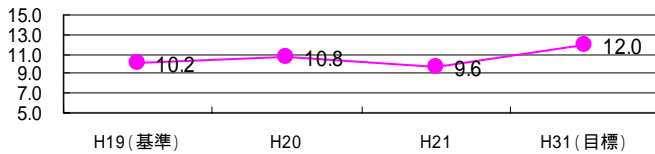


参考図 1 9 . 各種スポーツ大会の観客数

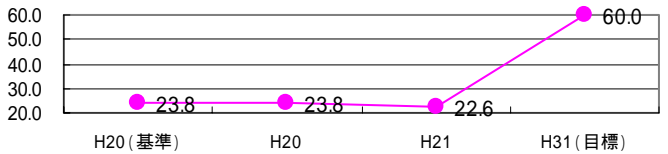


参考図 2 0 . スポーツ合宿団体数

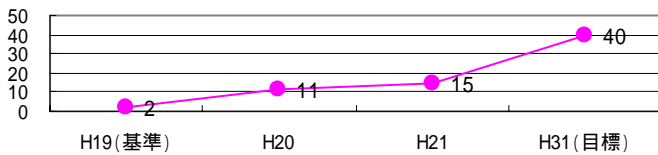
基本方向 1 : 学校・家庭・地域の連携



参考図 2 1 . 子ども 1 人当たりの子育て支援センター等の利用回数

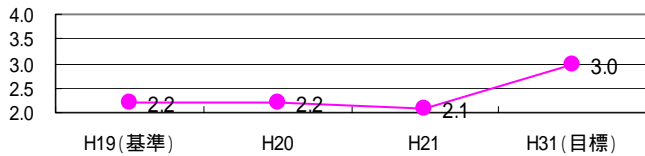


参考 2 2 . 子育てメール通信の利用率

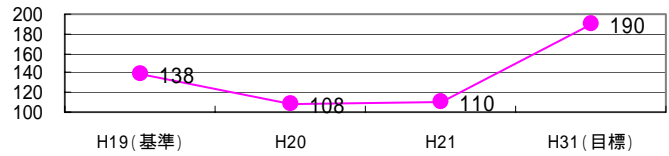


参考図 2 3 . 学校支援ボランティアを活用した学校数

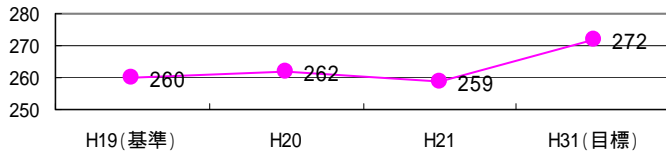
基本方向 2：教育を支える人材の育成



参考図 2 4 . 教職員 1 人当たりの研修受講回数

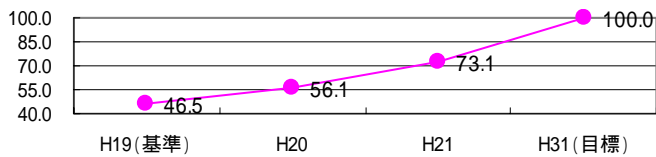


参考図 2 5 . 地域の指導者の登録者数

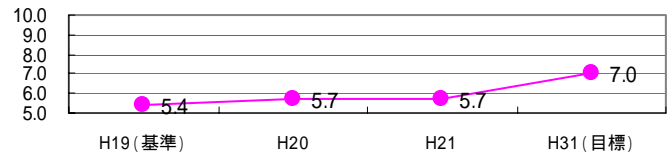


参考図 2 6 . ホームページで芸術・文化活動を紹介
する文化団体数

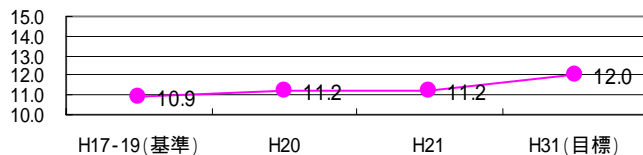
基本方向 3：教育環境の充実



参考図 2 7 . 小・中学校校舎の耐震化率

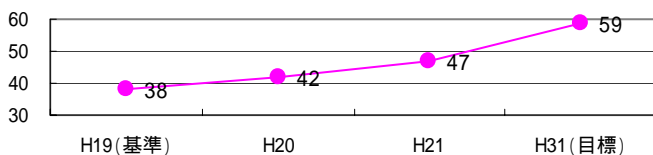


参考図 2 8 . 市民 1 人当たりの図書等の貸出点数



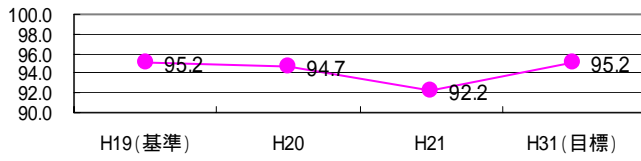
参考図 2 9 . 児童会館の入館者数

基本方向 4：教育機会の確保

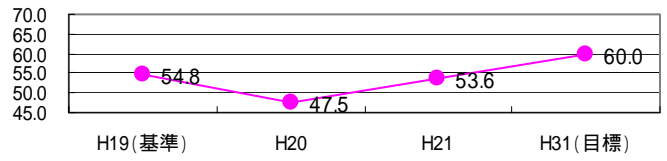


参考図 3 0 . 特別支援学級の設置数

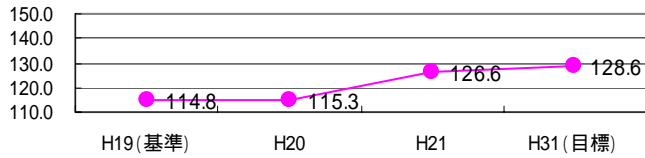
基本方向5：よりよい教育のためのしくみづくり



参考図3 1．社会教育施設の総利用者数



参考図3 2．文化施設の利用者数



参考図3 3．スポーツ施設の利用者数